



20神建第142号
平成20年10月6日

国土交通省道路局長 殿

東京都神津島村長
石野田 富



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付、国道企第37号による依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

東京都神津島村

道路(村道、都道)の改善については、毎年度村から重点要望として都及び関係機関にお願いしているところであり、国についても十分ご理解のうえ、継続的で適切な予算配分を行って頂きたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

東京都神津島村

○現状 本村は村道、都道が整備されているが、村道延長70.2kmの内、48.2kmは未改良となっている。更に、舗装済生活道路の現状は、経年等により破損が著しく、このため、住民生活に大きな影響を与えているのが現状である。	○課題 平成12年の大震災により基幹道路が通行止めになり、代替ルートが欠如しているなどの問題が明らかになった。村道の規格は低く、住居環境及び防災対策面の障害となっている。
---	---

今後の道路行政についての意見・提案

②-② 地域の目指すべき将来像

様式 ③

東京都神津島村

安心して安全に暮らせる島づくり

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

東京都神津島村

○重点事項	○期待する効果や評価等	○その他
安全で快適な暮らしを支える社会基盤整備	道路の安全。利便性の確保 歩行者優先の道路づくり	平成12年大震災を教訓に大規模な災害が発生し、一部の道路が使用出来なくなった場合における迂回路の整備、幹線道路の改良、災害に強い道路を整備することにより、円滑な応急活動が行われ、経済的に与える影響を最小限に食い止めることができる。 道路の段差解消や歩道の整備を行うことにより、歩行者の転倒防止及び交通事故の抑制が図られる。